

2001年度 VLBI 懇談会総会 議事次第

2001/12/11 鹿児島大学

1 . 活動報告

- (ア) 幹事会報告
- (イ) Jnet の活動について
- (ウ) 会計報告
- (エ) VLBI 懇談会選挙報告

2 . 活動方針

- (ア) 活動予定
- (イ) 予算計画

## VLBI 懇談会幹事会議事録

2001/July/10 @国立天文台三鷹 小会議室

### 議事

1 . 各機関報告

2 . 役員改選について

例年通り役員改選を行うことになった。この際、通総研小金井から KSP プロジェクトの終了に伴い、小金井からの機関幹事の選出を遠慮したい旨の提案があり了承された。また機関代表幹事として北大・岐阜大から選出すべきではないかとの提案があり、事務局が北大・岐阜大の意向を確認して、推薦していただくことにした。

3 . 今後の Jnet・VERA の共同利用観測について

別紙のような提案を事務局から行った。議論のうえ、VERA に一本化する方針で、検討を行うことが了承された。野辺山 45m の取り扱いについては、野辺山のレフリーングを受けることや長期共同利用枠を利用するなどの案が出された。

4 . 今年度 VLBI 懇談会シンポジウムについて

別紙資料を参照

5 . その他

## 今後の Jnet・VERA の共同利用について

2001/July/10 VLBI 懇談会幹事会資料

小林秀行

### 1. 経緯

昨年度の VLBI 懇談会シンポジウムにおいて面高（観測局代表者会議議長）・笹尾（VERA 統括責任者）・小林（VLBI 懇談会事務局長）からの提案として今後の VLBI の共同利用観測について、4つの案を提起し、議論を喚起した。その後国立天文台電波専門委員会の下部委員会である VERA 推進小委員会で VERA のみならず国立天文台の行う VLBI の共同利用観測についても統一的に議論するように電波専門委員会において議論された。従って天文台の VLBI 共同利用についての方針は、VERA 推進小委員会において原案が作成され、電波専門委員会および国立天文台運営協議委員会で決定される国立天文台長に示されることになる。従ってユーザー組織である VLBI 懇談会では、VERA 推進小委員会に要望・提言を行っていくことが必要になる。

### 2. 提案

現状の Jnet,VERA の共同利用を一本化して行くことを提案する。理由は下記の通り

- 現状の Jnet のレフリーングを 45m のレフリーに委ねるより VLBI 観測を良く理解した VERA 共同利用のレフリーの方がより実行的な審査が行える。
- VERA 共同利用で想定される観測提案と Jnet で提案される観測提案は、基本的にはたいへん近い研究分野である。
- 相関局の運用・磁気テープのサーキュレーションなどリソースの配分・運用上も一元化の方が容易である。
- Jnet に参加する鹿島局の国立天文台との研究協力が地球回転研究系と結ばれている。
- 天文台第 2 期計画では、VLBI 関連の研究部門が一体化して宇宙計測研究系を作る方針である。

などがある。しかし、野辺山 45m の VLBI 共同利用に参加する形態については今後多くの議論や調整が必要になる。また実施時期については、VERA の共同利用観測が開始される時を想定し、それまでは現状の野辺山 45m を中心とした運用を続ける。

### 3 . 今後の議論の進め方について

野辺山宇宙電波観測所との実務的な検討が必要である。それと並行して VLBI 懇談会内部での議論が必要であり、VLBI 懇談シンポジウムなどで議論を進めていきたい。また VERA 推進小委員会・電波専門委員会で議論し、方針の決定が必要である。

## 今年度 VLBI 懇談会シンポジウムに関して

VLBI 懇談会事務局

今年度の VLBI シンポジウムの内容・日程・場所について

従来の機関報告および個別の研究の進捗の発表のほかにテーマとして

- VERA に向けての観測提案
- VSOP-2 によるサイエンス
- 新 Jnet (北大・岐阜大・山口等を含む) のサイエンス
- Jnet の 10 年
- VSOP 5 年
- 実時間 VLBI によるサイエンス
- その他

これから 1 つないしは 2 つを選んで研究会のテーマにしてはどうか。

日程・場所について

- 12 月 11 - 13 日に日韓共同シンポジウムが鹿児島大学で開催される。  
それに併せて開催する。
- 通常通り 12 月に行う。順番からすると国立天文台三鷹か宇宙研、もしくは岐阜大

## VLBI懇談会 会計報告

報告期間(2000年12月4日 2001年11月30日 現在)

報告書作成 2001年12月6日

VLBI懇談会事務局長 小林秀行 印

(1) 収入 合計		<u>323,904円</u>
・前年度繰越金		90,860円
・会費収入		233,000円
=内訳=		
1995年度 正会員	2名	1996年度 正会員 2名
1997年度 正会員	2名	1998年度 正会員 7名
1999年度 正会員	14名	2000年度 正会員 53名
2001年度 正会員	39名	2002年度 正会員 2名
・利子		44円
(2) 支出 合計		<u>131,160円</u>
・招聘旅費(韓国4名)		92,700円
・V懇シンポお茶代		11,829円
・封筒代		2,631円
・切手代		24,000円
(3) 残高 合計		<u>192,744円</u>
=内訳=		
現金		10,150円
郵便局総合口座		109,044円
振替口座		73,550円

- 会則上は2000年度会計期間は、2000.1.1-2000.12.31であるが、VLBI懇談会総会で承認を得るために11月30日で会計収入および支出を閉じた。

---

### 会計監査報告

VLBI懇談会会計簿および支出に伴う領収書等を監査の結果、問題のないことを認めます。

2000年12月6日

VLBI懇談会 会計監査委員

## 2002年度 VLBI 懇談会予算案

2001/12/11 VLBI 懇談会総会資料

収入	425,744	円
繰越金	192,744	円
会費	233,000	円
支出	425,744	円
2000年シンポジウム収録代	160,000	円
2001年シンポジウム収録代	160,000	円
幹事会旅費サポート	80,000	円
通信費	15,000	円
その他	10,744	円